

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、早いもので、2月になりました。やはり不景気のなんですね。朝の中央道がいつもの時間帯でも渋滞知らずで、かなりスイスイ動くことから実感できます。

2月は空気が澄んでいて、夜空の星が綺麗ですね。都内にいると、明るすぎて星が見えにくいですが、宵の明星の金星だけは、今月20日頃最大光度になります。昼間でも見える位の明るさなので、ぜひ見てみてください。

勝沼「ぶどうの丘」に行ってきました

友人が家族で山梨に遊びに来て、山梨の観光地らしいところが見たいとのことで、勝沼を案内しました。昼食にとったグラスワインが美味しく、急きょ同じワインがあるか、ワイン探しに勝沼のぶどうの丘に行ってきました。このワインカーヴには200銘柄、3万本のワインが置いてあり、試飲

のためのタートパンを購入して、ワイン探しをしました。欲しいワインは、限定品販売ということで見つかりませんでした。しかし、新種のワインもたくさんあり、ワイン好きの友人には、県産の一通りのワインが楽しめてもらえたようです。



「洗剤を使わないシミ抜き作業」

改修工事の現場によっては、綺麗にしすぎると、かえってその部分だけが目立ってしまうので、洗剤を使わないで引き渡しクリーニングをする現場があります。

ここの現場もそのような感じで、歴史建造物が回りがあると、使っている部材が、築50年以上のものばかりです。

そんなところで、発砲ウレタンを床石にこぼしてしまい、石にしっかりと濡れ色のシミを作ってしまった。

こうなると現場で出来る事は、

- ・水洗い
- ・スチーム洗浄
- ・シンナーによる溶剤だけの洗浄

くらいしか洗浄の選択は無くなってしまいます。

改修工事中ということもあり、ホコリ等の汚れはかなりのものなので、まず、水洗いで洗浄を行い、石の下地を出し、

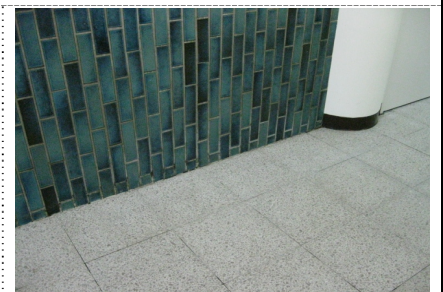
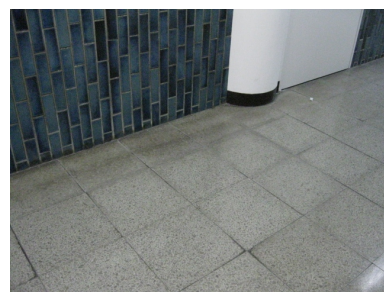
それから、スチームやメラミンスポンジで表面の付着物を落とし、乾燥した状態を確認して、まだ、濡れ色のシミが出ているところへ、溶剤を刷毛で塗布してゆっくりと石目に侵入させて、シミを溶かしていきます。



この工程を、5回くらい繰り返していくと、段々と表面のシミが薄くなってきました。最後に表面を回りと同じように似させるように少しぼかして、違和感がないくらいまで持って来ることが出来ました。

テラゾーの洗浄

今月もテラゾーの洗浄工事が入りました。昔は結婚式場だったところが、改修工事ではセレモニーホールなる現場からです。以前は、ワックス処理をしていて壁際には、ワックスの黄変と、歩行による汚れが入り混じっていて、剥離剤だけでは取り切れない汚れがどうしてもあり、2次洗いが必要



で、その場合には酸性洗剤で水垢を含んだ歩行汚れを取ると、かなりきれいな下地が出てきました。乾燥後はコート処理です。

(編集後記) 今年の四月で、娘のもえぎも高校生です。さすがに我が家にも受験の緊張感が少し出てきました。同時にこの仕事を始めて16年目になるので、私も、更に本業を極めて行きたいですね。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp